



PowerTake

Playout Controller

複数の HyperDeck Studio を LAN 経由で再生コントロール



HyperDeck Studioの利用範囲を拡大

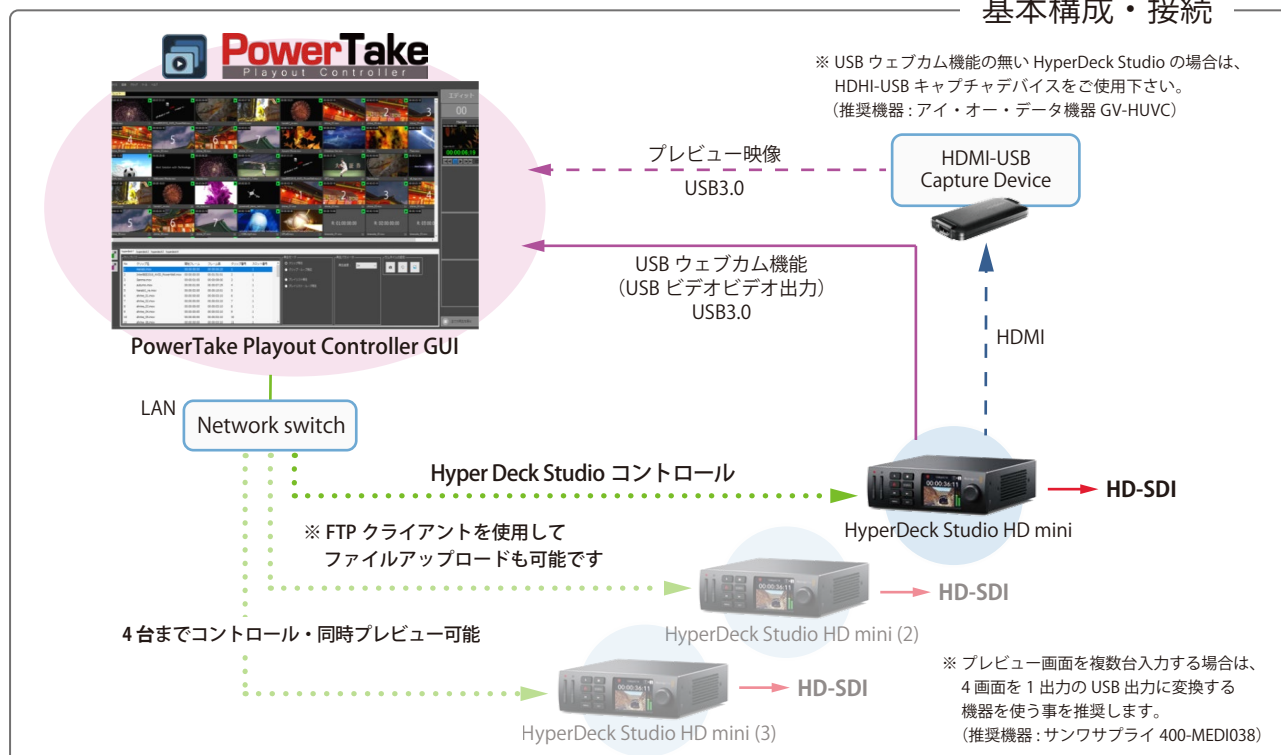


PowerTake Playout Controller は、Windows 上で動作するプレイアウトソフトウェアで、LAN 経由で接続した HyperDeck Studio にあるクリップファイルを GUI ベースの操作パネルで再生コントロールを実現します。

ユーザーは、操作パネル(パレット)上に、HyperDeck Studio のクリップファイル (Apple ProRes 形式) を “クリップボタン” として登録、並べることで自由に再生順序を指定し、プログラム再生や繰り返し再生など直感的な操作が可能です。また、HyperDeck Studio の HDMI 出力を USB-HDMI キャプチャデバイス (他社製品、別売) を使って PowerTake がインストールされた PC と接続することで、HyperDeck Studio の再生映像をクリップボタンのサムネイルとして登録できる機能を用意。プログラマと操作担当が分かれる現場においても、わかりやすい操作パネル(パレット)を用意することで、操作のミスを防ぎます。

また、PowerTake Playout Controller は HyperDeck Studio を最大 4 台まで制御可能。個別の操作はもちろんワンクリックで複数台の HyperDeck Studio 内のファイル同時再生も可能です。ライブ会場、配信時のプログラムソースや、企業プレゼンテーションや大型ビジョン向けの再生ソースのコントロール等、HyperDeck Studio の利用範囲を広げるツールとしてご活用頂けます。

基本構成・接続



【システム構成】



※プレビュー表示には、UVC対応のHDMIキャプチャーデバイスが必要です。(I-O DATA GV-HUVC 推奨)

【機能】

◆ユーザーインターフェース

- オンエア / エディット操作
- 1パレットに64個(8x8)までボタンをレイアウト
- ボタンの追加、削除、配置変更
- パレットの選択、追加、削除、順序変更
- プレイリストの作成、編集

◆プレイバック

- クリップ再生モードの選択
クリップ再生
クリップのループ再生
プレイリスト再生
プレイリストループ再生
- 再生速度
- ループ回数指定 *
- IN点 / OUT点の指定 *
- 再生操作
(プレイ、ストップ、フレーム移動(先頭 / 最終 / 1コマ))
- プレビュー映像表示
- タイムコード表示(残り時間、ソース時間、尺長時間)
- オーディオレベルメーター表示

◆コンテンツ

- プロジェクトのロードとセーブ
- ファイルフォーマット選択
- ビデオフォーマット選択

*青字は次期リリース以降で順次対応予定

●対応 HyperDeck Studio

HyperDeck Studio mini

HyperDeck Studio HD Mini / HD Plus / HD Pro / 4K Pro



※ HyperDeck Studio Pro/12G では、一部制限があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

●推奨 Contorl PC 構成

CPU : Intel Core i5 2.0GHz と同等以上

メモリ : 8GB 以上

システムディスク容量 : 1TB 以上

USB3.0 : 2 ポート

Gigabit NIC : 1 ポート

解像度 : 1024x768 以上 (推奨 1920x1080)

Windows10 Pro 64bit / Net Framework 4.7.2 以上



【PowerTake Playout Controller ユーザーインターフェース】

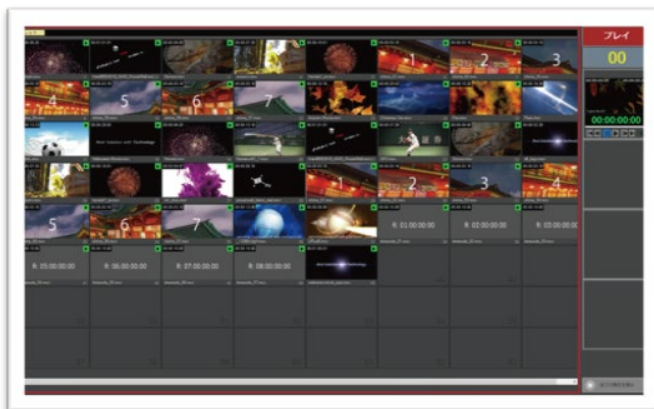
(エディットモード)

再生するクリップや並び順を設定する仕込み、修正モード



(プレイモード)

再生専用モード



このカタログに掲載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。記載内容は2023年10月現在のものであり、記載されている内容は予告なく変更される場合があります。最新の情報については、弊社(VGI)営業へお問合せまたはホームページにてご確認ください。©2022 Visual Graphics Inc. All Rights Reserved.